

# 新発見のヤクスギ



## 天空杉

幹周 12.43m

樹高 45m

永田岳より発する天空谷にある。

2017,8.15日放送のNHK番組で放送された新発見のヤクスギの内、最大株。見事な単幹樹で、幹周は上部接地面1.3m地点を水平に測定している(白線部)。よって、M式では(点線部)もう少し数字が大きくなると思われる。

◀NHK テレビ画像より合成

※全国の天然杉の巨木を調査してきた経験から、巨杉の立地条件というものがわかっている。NHKの調査では残念ながら、伝説になっている縄文杉より大きな巨杉は発見されなかった。筆者は、これまでの屋久島の調査で、存在する場所の特定がほぼできていたので、調査団の一員に加えて頂けたなら、と悔やまれる。



## 中州杉

▲NHK テレビ画像より合成

幹周 10.40m

樹高 35m

屋久島南東部山中

2017,8.15 日放送の NHK 番組で放送された新発見のヤクスギ。二本の谷の中州に立つ。単幹樹であるが、上部で分岐、これも幹周は上部接地面 1.3m 地点を水平に測定している)。



◀NHK テレビ画像より合成

卷尺

## 屋久島の根上り杉

株周 16.73m

樹高不明

屋久島の南東部山中にある。

2017.8.15日放送のNHK番組で放送された新発見のヤクスギ。地上1.3mの根上り部を測定(巻尺が見える)。番組では、縄文杉を越えるとの声がかかったが、M式では、株周と表記する巨木のため、単幹樹である縄文杉と同列での比較はできない。

古株更新の樹形。低い位置での更新で、古株が空洞化している。伏条幹が出なくて、単幹樹になるのは、屋久島の特徴である。日本海側のように、雪が湿って重たくない事によろと考えられる。